

糸魚川地域について【観光・交流】

■現状

◆観光資産を生かした地域経済の活性化

- ・糸魚川市には、「世界ジオパーク」として認められた24箇所のジオサイト
- ・県外からの海水浴客や名勝地やフォッサマグナパーク等個性に富んだ観光資産が多い。



糸魚川地域について【物流】

姫川港と糸魚川市街地



国道148号の現状・課題

- 災害、異常気象時の通行規制
- 線形不良（急カーブ、急勾配、狭い道幅など）
- 大型車両の通行による沿道環境悪化



姫川沿いの洞門



洞門内部



市街地部の交通状況



国道148号の課題【災害に強い道路ネットワーク】

■現状の課題

◆国道148号の分断による孤立集落の発生

- 山間部は雨量規制区間に指定 → 豪雨時には通行止。
- H7.7.11豪雨では、道路決壊21か所、6か月間通行止
- 防災点検による要対策箇所も多数点在。



平成7年7月集中豪雨による被災状況



H9道路防災総点検 要対策箇所

-凡 例-

- 地すべり (1箇所)
- 土石流 (1箇所)
- 雪崩 (6箇所)
- 岩石崩壊 (6箇所)
- 落石崩壊 (1箇所)

国道148号の課題【事故の軽減・救急医療】

■現状の課題

◆事故：山間部での事故による通行止めが多発

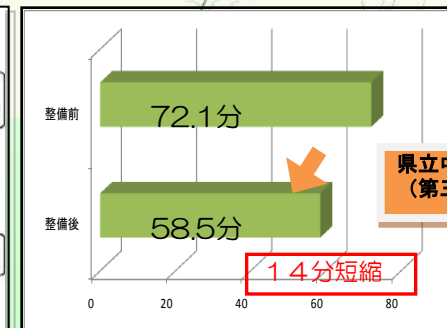
- 大型車の衝突の交通事故が多く、全面通行止が毎年発生。

◆医療：搬送時間、搬送患者の負担が大きい

- 第三次医療施設は上越市であり、**搬送時間は72分**
- 救急搬送路である現道は、急カーブが多く、揺れによる搬送患者への負担大。



大所トンネル(事故処理後)



県立中央病院（上越市）
（第三次医療施設）

整備効果【観光・交流・物流】

■効果

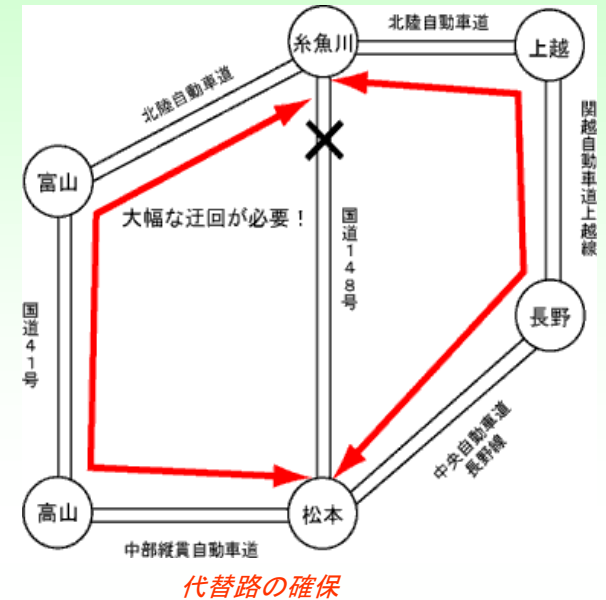
◆地域経済の活性化

- 観光・交流人口の増加
- 観光拠点の魅力向上
- 周遊観光ネットワークが構築され、長野県北アルプス地域との連携強化

整備効果【災害に強い道路ネットワーク】

■効果

- ◆災害時の孤立集落を防ぐ代替道路の形成
(リダンダンシーの確保)
- ◆防災拠点を結ぶネットワークの構築



整備効果【事故の軽減・救急医療】

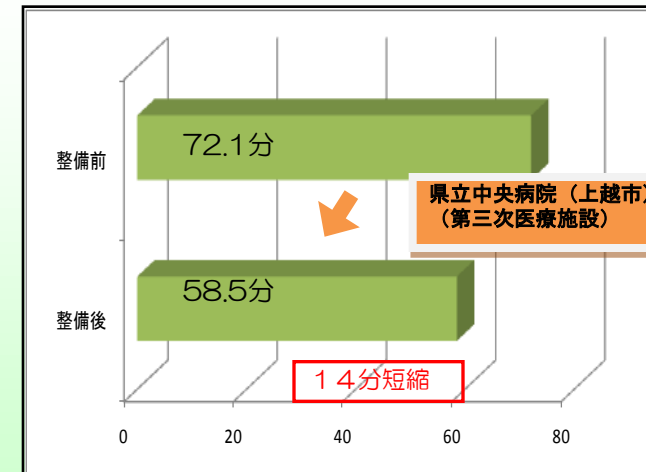
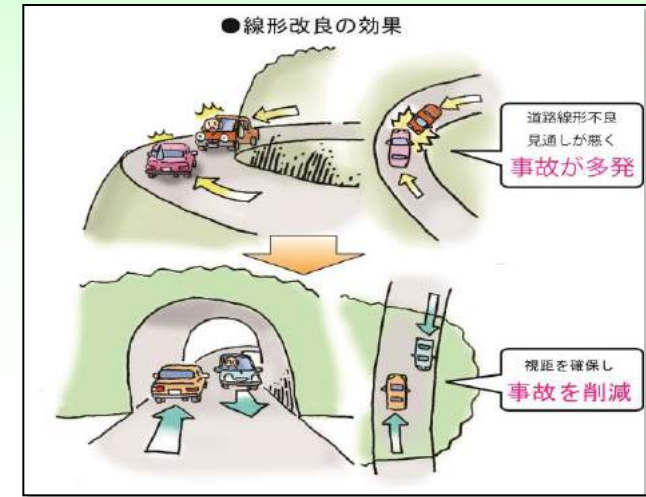
■効果

◆事故の減少

- ・ 事故減少便益
- ・ 通行止めの回避

◆搬送時間の短縮、患者の負担軽減

- ・ 第三次医療施設までの搬送時間
14分短縮
- ・ 患者の負担大幅に軽減



松本系魚川連絡道路の指定状況

候補路線

■H6.12.16指定
L=100km (松本～糸魚川)

計画路線

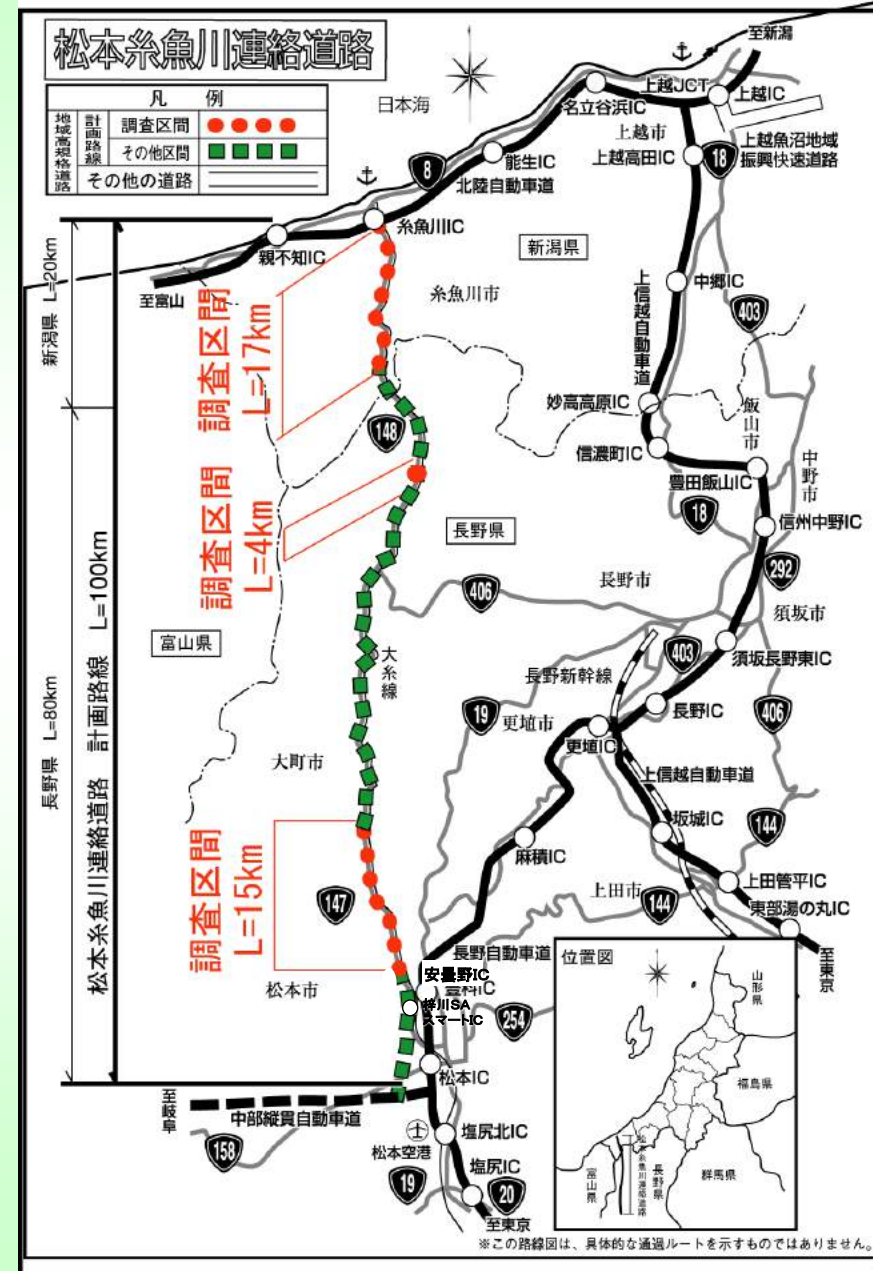
■H10.6.16指定
L=100km (松本～糸魚川)

調査区間

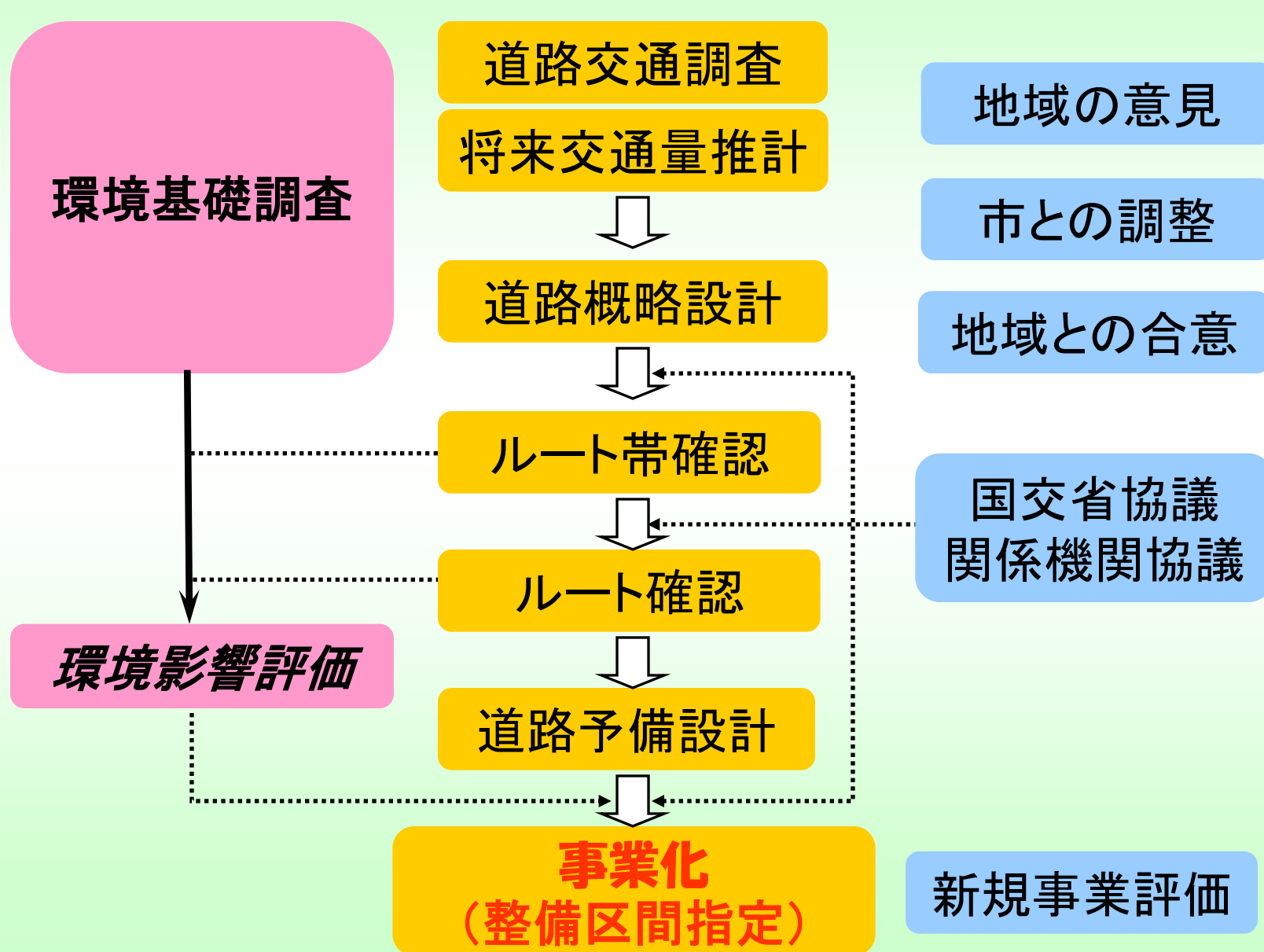
■H11.12.17指定
L=15km (長野県内)
L= 8km (糸魚川市)

■H17.3.25指定
L= 4km (長野県内)
L= 9km (糸魚川市)

事業化
(整備区間)

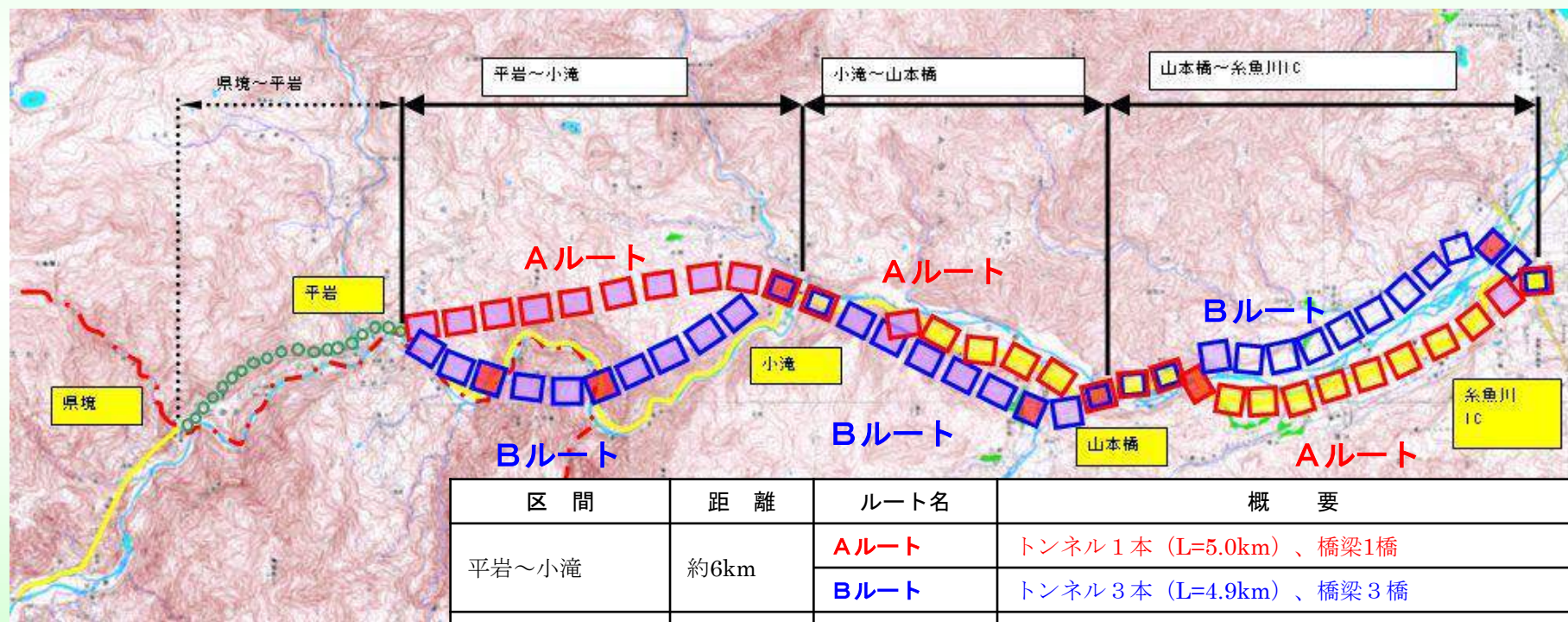


調査の流れと進捗状況（今後）



ルート帯(案)

地区懇談会と市民アンケートを実施



区 間	距 離	ルート名	概 要
平岩～小滝	約6km	Aルート	トンネル1本 (L=5.0km) 、橋梁1橋
		Bルート	トンネル3本 (L=4.9km) 、橋梁3橋
小滝～山本橋	約4km	Aルート	トンネル1本 (L=1.2km) + 現道利用
		Bルート	トンネル2本 (L=3.0km) 、橋梁2橋
山本橋 ～糸魚川IC	約7km	Aルート	姫川右岸ルート (現道拡幅)
		Bルート	姫川左岸ルート (バイパス)

近年の糸魚川地域の主な取り組み

- ・糸魚川シーフードシャトルバス（糸魚川青年会議所）
- ・長野方面からの観光ツアーの開催
 - （北アルプス日本海広域観光連携協議会）
- ・ムスリム旅行者の誘致
 - （北アルプス日本海広域観光連携協議会）
- ・糸魚川インバウンド推進委員会の設立
 - （糸魚川市、観光協会、商工会議所、糸魚川地域振興局）
- ・DMO候補法人として登録（観光協会）



ムスリム料理の試食会



白馬村から糸魚川を訪れた外国人旅行者

糸魚川地域のこれから

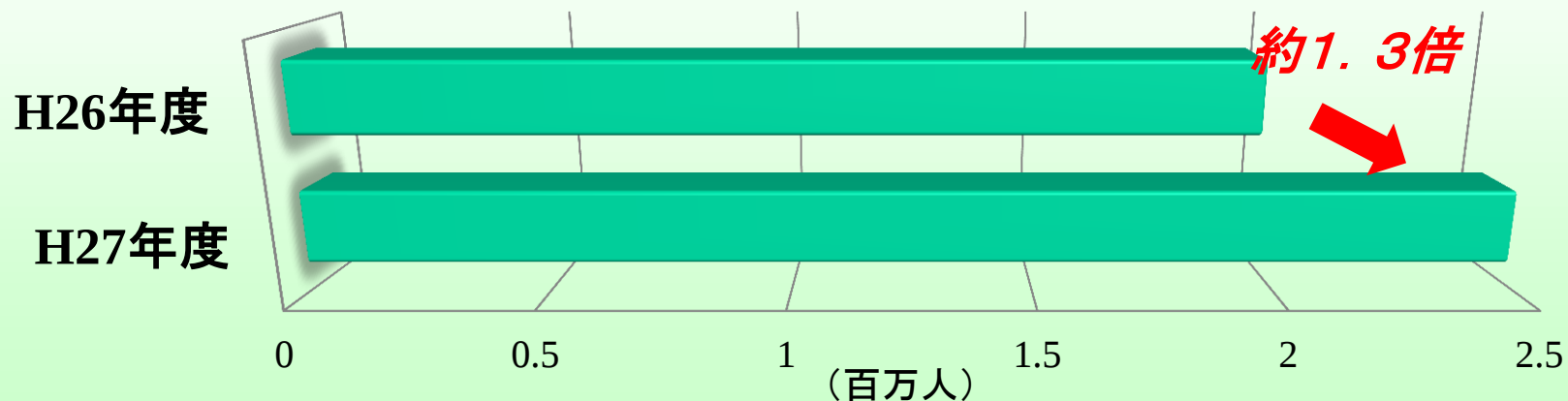
平成27年3月

北陸新幹線開業



年間観光入込客数

(糸魚川市集計・全施設及びイベント)



ご清聴ありがとうございました。